

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
生理学3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	塚田 愛			実務 経験	無	職種					
授業概要											
人体の生理的活動を具体的に学び理解を深めます。											
到達目標											
生理学は本来、ヒトが生きているということはどういうことか、ヒトの体は生きていくためにどのような営みをしているのかを考え、健康や病気を理解するために欠かせない基礎的の学問である。将来、外傷・障害の治療に当たる柔道整復師を目指す学生にとっては必要不可欠な知識である。基本的な生理学の知識を習得することは医療資格の取得を目指すものとして必須である。											
授業方法											
教科書を中心に授業を行う。生理学は、人体の機能を明らかにし、その機能がどのような機序（メカニズム）で現れるかを追求する学問である。人体の機能の理解に取り組む方法として、まず、人体を構成する各要素に分解してその個々の機能を追求し、さらに、その機能がどのようなしくみ（機序）で発現するかを探る。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な対応ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（生理学 一社団法人 全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	感覚の生理学①										
第2回	感覚の生理学②										
第3回	感覚の生理学③										

第4回	感覚の生理学④
第5回	感覚の生理学⑤
第6回	血液の生理学①
第7回	血液の生理学②
第8回	7週までの振り返りと確認演習
第9回	循環の生理学①
第10回	循環の生理学②
第11回	循環の生理学③
第12回	循環の生理学④
第13回	循環の生理学⑤
第14回	13週までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ